

高萩スカウトフィールド

日本の青少年育成は この森から

平成29年にオープンした中戸川地域にある約82万坪の広大な教育キャンプ施設。
ボーイスカウト日本連盟が所有する2つの野営施設のうち、その1つがここ高萩にあります。
一般の人にも開かれた施設として、利用方法などを紹介します。



やまと 大和の森

自然が美しいこの場所で、
「生きる力」を育む

昭和天皇が皇太子時代にボーイスカウトの創始者ベーデン・パウエル卿の活動に共感し、ボーイスカウトの活動を後押しされました。大正11年にボーイスカウトの前身となる「少年団日本連盟」が創立。令和4年にボーイスカウト日本連盟は、創立100周年を迎えました。

この日本連盟の施設として「大和の森 高萩スカウトフィールド」があります。ボーイスカウト日本連盟は、野外での活動や体験を通して、より良い社会づくりに貢献できる青少年の健全な心と体を養います。

水野理事長は「誠実であることの大切さ、仲間と話し合っただけで仲良くなることは、生きる力を育み平和な社会への礎となります」と青少年育成の重要性を語ります。

そして「自然が美しいここ高萩で、約82万坪の広大な野営場を指導者訓練だけでなく、地域の皆さまとともに、活動を展開させていきたい」と期待を膨らませます。



(公財) ボーイスカウト日本連盟
理事長 水野 正人(みずの まさと)
令和3年に就任。ミズノ株式会社相談役会長。
元東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会
副理事長兼専務理事。



ボーイスカウト日本連盟の歩み

大正11年4月

●「少年団日本連盟」設立

平成29年8月

●日本連盟施設「大和の森 高萩スカウトフィールド」
グランドオープン

令和3年11月

●ボーイスカウト日本連盟と「災害時における緊急避難者の受け入れ等に関する協定」を締結

令和4年4月

●「ボーイスカウト日本連盟」創立百周年